

円山川において大きな被害が発生した平成16年台風23号を契機に、円山川流域の住民を対象に、防災意識の向上を目的とした学習会を平成23年から毎年行っています。

今年度は、第一部では静岡大学防災総合センター牛山教授より、過去に発生した全国の豪雨災害事例をもとに、リスクに対する向き合い方についてご講演いただき、第二部では防災教育を実際指導した先生方よりそれぞれの学校・園の取組事例をご講演いただきました。

プログラム紹介 (司会 フリーアナウンサー 佐伯 和亜)

【開会挨拶】 豊岡市 市長 関貴 久二郎

【第一部】 「地域を知り、防災を考える～最近の豪雨災害事例から学ぶこと～」

静岡大学防災総合センター 教授 牛山 素行

【第二部】 「防災教育の取組紹介」

豊岡市立西保育園 園長補佐 尾畑 いつ子

豊岡市立神美小学校 教諭 金納 美海

豊岡市立竹野中学校 校長 赤松 直

【閉会挨拶】 国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 所長 南 知之

YouTube 配信画面



<開催概要>

日時: 令和3年11月4日(木) 19:00～21:00

共催: 豊岡市 但馬県民局 豊岡河川国道事務所

■【本会場】豊岡市民プラザ(アイティ9階) 計83人

【ライブ配信(YouTube)】再生回数 1542回

接続デバイス数 642

開会挨拶

市長 関貴 久二郎



豊岡市市長 関貴 久二郎

【第一部】牛山教授 講演内容

静岡県熱海市での土砂災害を始め、過去に発生した豪雨災害の特徴を紹介いただきました。それを踏まえ**起こりうる豪雨災害は全て想定できており、豪雨災害は起こるべくして起こるもの。**つまり、普段から防災の意識を高めていくことが被害を軽減させるといった**防災に対する向き合い方**を講演いただきました。



牛山教授

閉会挨拶

所長 南 知之



豊岡河川国道事務所 所長 南 知之

【第二部】防災教育の取組紹介

防災教育の取組について、豊岡市内の西保育園、神美小学校、竹野中学校での防災教育の取組内容を紹介しました。最後に牛山先生より、各教育施設においての今後の防災教育のやり方についてアドバイスをいただきました。



赤松校長

金納教諭

尾畑園長補佐

会場の様子



パネル展示



防災グッズ展示



■アンケート

- ・円山川流域においては、堤防整備が進められる中、災害は過去のものとなりどこかもう大丈夫という意識の中で生活していた。地域の防災においては若年層に豊岡の災害事例を知ってもらい、防災啓発を伝承していければと感じた。
- ・地域の防災は自らが考え、実施しなければならない。教育関係者のみならず改めて向き合う必要性を感じた。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所 調査課
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3
TEL 0796-22-3126(代表)

